

【2018年度 米国 MCPHS 大学サマープログラムについて】

1. 実施目的について

留学先の教員、米国学生、他国からの留学生に対して、ミスを恐れることなく積極的に英語でコミュニケーションを取れるようになること。また、午後の薬学の授業や病院・薬局見学、プレゼン発表の機会等を通じて、米国薬剤師と我国の薬剤師の職務の違い、両国の薬剤教育の違い、グローバルに通用する薬剤師に必要な心構え、文化の違いを理解することを目標としている。所定の講義出席と評価を得ることができた学生には、当該大学から修了証書が授与される。

2. 留学日程について

スケジュール	2018
前期試験終了	7/31 (火)
前期試験予備日	8/1 (水)
伊丹空港出発 (成田空港経由)	8/2 (木)
現地到着	8/2 (木) 18:30
授業開始日	8/3 (金)
宿泊数	12泊14日
到着・出発日数	2日間
平日授業日数	7日間
土日休日数	4日間
現地出発	8/14 (火)
伊丹空港到着	8/15 (水) 19:55

3. 参加対象者年次について

学部2、3年次生 (申込時点では、1、2年次生)

4. 参加学生に求められる能力について

- ・積極性、好奇心、向上心
- ・異文化コミュニケーション力 (語学力・多文化を受け入れる柔軟性等)
- ・日本における薬学の基本的知識、日本文化に関する知識

5. 参加学生定員について

12名

6. 申込方法

ガイダンスにて配布する申込書に必要事項を記入し、学生相談員の捺印を得た後に、3月22日(木)17時までに愛学館1階国際交流推進室佐々木宛に提出すること。

7. 参加者の選考について

学業成績 (過年度及び2017前期・後期の単位修得状況等)、留学申込書内容、TOEICの点数を参考に、参加者を決定する。

※留学からの帰国直後の9月に前年次科目再試験を受験する予定がある学生は、留学をご遠慮いただく。

8. 自己負担額（概算）について

約 37 万円

<内訳>

項目	支出					収入	差引 合計
	往復 航空券	ワクチン代 (B型肝炎3回・ Tdap・髄膜炎)	受講料・滞在費 (食費込)	観光費用 +お土産	海外旅行傷害 保険費用 (ESTA込)	京都薬 科大学 海外短 期留学 奨学金	
金額	約24万円	約6万円	約24万円	1万5千円	1万5千円	20万円	37万円
支払 入金 時期	4月末:3 万円 6月末:21 万円	4~6月	7月末	8月 現地	7月末	4月20日 入金	-

9. 奨学金について

参加決定者全員に 4 月 20 日に 20 万円を給付する。

10. 往復の交通手段について

- ・日本航空（JAL）で、伊丹空港発、成田空港経由で、ボストンローガン空港へ渡航する。
- ・大学が航空券を一括手配するため、個人手配は不要。空港からキャンパスまでの往復は、バスを利用する。
- ・参加者全員で渡米、帰国する（個人での出入国は認めない）。

11. 留学中のサポート体制について

- ・海外に精通した教員等 3 名が引率する。
- ・危機管理研修を実施する。
- ・大学が契約する危機管理会社の危機管理サービスに全員加入する。

12. 留学プログラム内容について

- ・ 9 : 00 ~ 11 : 30 : 基礎英語や薬学英语。リスニングや会話能力を高める。
- ・ 11 : 30 ~ 13 : 30 : キャンパス内のカフェテリアで昼食（ビュッフェ形式）
- ・ 13 : 30 ~ 16 : 00 : MCPHS 大学の教員による英語での薬学授業（日米の薬剤師業務の違い、薬理学、薬化学、薬物動態学、生理学等）を受講するほか、ボストンの世界有数の病院薬剤部見学、薬局見学、研究室見学、米国の薬剤師のロールプレイング、他国からの留学生や現地学生・教員との交流会、日本の薬学事情・京都・日本文化に関する本学学生によるプレゼンテーション、キャンパスツアー、ロングウッドメディカルエリア周辺ツアーなどを予定。
- ・ 16 : 00 ~ : ボストン観光（ボストン美術館、ボストン図書館、プルデンシャルタワー、フリーダムトレイル、ショッピング等）

13. 宿泊施設について

ボストンキャンパス内の大学寮に宿泊する予定。

ボストンキャンパス寮住所 : 179 Longwood Avenue Boston, Massachusetts, United States

基本的には 2 人で 1 部屋を利用する。シャワー室・トイレは共同。キッチン・冷蔵庫は利用不可。ベッド、机、クローゼット備え付け。ブランケット、シーツ、枕が貸し出される。

14. インターネット環境について

キャンパス、寮全てにおいて wifi が利用できる。初日にパスワードが付与される。また、外出時は WiFi ルーターを貸し出すため、個人での WiFi ルーターレンタルは不要。

15. 食事について

キャンパス内の食堂や、近隣のレストラン、スーパーで利用できるVISAデビットカードが1人1枚配布される。カードには2週間分の食事に相当する額が入っているため、滞在期間中に各自自由に利用することができる。ボストンキャンパスでは、平日の朝、昼、夜に食堂を利用できる。

16. 休日の過ごし方について

土曜日、日曜日は授業がないため、ボストン市内で複数のグループに分かれて自由行動ができる。ハーバード大学見学、マサチューセッツ工科大学見学、ボストン美術館、ボストン科学博物館、フリーダムトレイル、ダックツアーには、全員で参加予定。

17. 現地の学生との交流機会について

現地の学生とは、2回のプレゼン発表、スモールパーティーといった交流の機会がある。

18. 他国からの留学生について

韓国、中国の大学生が同時期に留学予定

19. 単位認定について

サマープログラムを受講し、当該大学が発行する修了証明書を授与された者で、帰国後、「振り返り研修(90分)」を受講し、2ヶ月以内に申請書類(「海外語学研修単位認定願」、「留学成果報告書」)を教務課に提出し、認められれば、「海外語学研修」(自由科目:3.0単位)を付与する。

20. 留学参加までのスケジュールについて

ガイダンス終了後~3月22日	愛学館1階国際交流推進室にて応募受付
4月初旬	選考結果を本人に連絡、参加決定者ガイダンス、課題図書配布
4月	英会話研修
4~6月	各種手続き書類提出(参加決定者に別途指示)、ワクチン接種開始
5月	留学の心構え研修
6月	危機管理研修・米国の薬剤事情研修
8月2日~15日	サマープログラム
9月	帰国後振り返り研修

事前研修とは・・・

- ・英会話研修:90分間、相手を換えながら、トピック毎の英会話を繰り返す練習。
- ・留学の心構え研修:参加学生同士で留学の目的等をグループディスカッションする。
- ・危機管理研修:海外渡航において注意しなければならないリスクについて学ぶ研修。
- ・米国の薬剤事情研修:病院施設等の見学に備え、最低限の知識を事前に学内で学ぶ研修。

帰国後振り返り研修とは・・・

- ・参加者同士で留学後にもう一度集まり、留学で経験したことや課題を他の学生と共有し、今後の目標等について話し合う。

21. MCPHS 大学概要について

創立:1823年 (参考:日本初の東京大学1877年。本学1884年)

特徴:全米で最も規模が大きな薬科大学で2番目に古い歴史を持つ。世界有数の医療機関が集まるボストンロングウッドメディカルエリアにキャンパスがあり、多数の病院と提携している。世界中から多くの留学生を受け入れており、世界の薬剤師の育成に貢献している。

キャンパス:ボストン、ウースター、マンチェスター

学部・院生数:7000人 薬学部生:1学年300人程度 卒業生:24000人 うち外国人留学生は42か国から750人

学士プログラム：生物学、化学、歯科衛生学、健康心理学、医学進学課程、薬学、公衆衛生、放射線科学
などがある。専門資格を取得できるコースとして薬剤師、医療補助師および看護師コースがある。

大学院プログラム：化学、薬事規制、調剤学、薬理学、看護学、公衆口腔衛生などがある。 以上